

グローバルな視野や思考力を育む海外留学に向けて世界各国・地域の大学等と国際交流協定を締結しています

海外留学

●琉球大学では約40カ国・地域の大学等と国際交流協定を締結して、充実した海外留学制度を整えるとともに、経済的な支援として、大学独自の奨学金や支援金により海外留学をサポートしています。また、バラエティ豊かなアジア・太平洋島嶼地域の諸大学に留学できるのも琉球大学ならではの。

国際化とは語学を学ぶことだけではない

今海外の大学院で学んでいるみなさんの先輩が言いました。「私は世界で環境工学の仕事がしたいくて海外で学んでいます。語学はその目的を達成するためのハードルにしか過ぎませんでした。」重要なのはあなたが何をしたいかです。琉球大学は世界各国・地域に交流協定校があり、選択肢は豊富で、必ずあなたの「何がしたい」にふさわしい場所が見つかるはずです。あるいは「何がしたい」を見つけるために飛び出してもいいです。もちろん語学も大切ですが、それはハードルに過ぎず、ゴールはあなた自身の目的にあります。

琉球大学短期交換留学(派遣)プログラム 本学から海外への留学

- 派遣期間は、1学期以上1年間以内
- 留学先の大学で取得した単位は、琉球大学の卒業要件の単位として認定可能
- 留学先の大学の授業料等は不要(ただし、琉球大学に在学している状態となるため、琉球大学の授業料は必要)
- 日本学生支援機構や琉球大学後援財団による奨学金(6～8万円/月)あり(選考があります)
- 琉大独自の奨学金(6～12万円)や準備金・短期研修参加費用を一部支援する制度もあります(詳細は下の琉球大学QUEST基金を確認)
- 官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム～による奨学金(12または16万円/月)や留学準備金、授業料の一部支援も応募可能(諸条件あり。2022年度以降のプログラムの実施については未定)
- 学生部 国際教育課の担当職員が、海外留学全般の相談に応じます。お気軽にご相談ください！

派遣留学のための学内奨学金

琉球大学 QUEST 基金 学生の国際交流支援事業

本学卒業生から、学生の国際交流支援のために受け入れた寄附金を主な財源として2017年度に創設し、2018年度から事業を開始した基金です。「QUEST」は「Quality Education and Support for Tomorrow」を意味し、本基金では、未来へつながる学生の探究心の向上に資することを目的に、次のような支援を行っています。

■短期交換留学生(協定派遣)の生活サポート — 短期交換留学(協定派遣)奨学金

本学と学生交流協定を締結している海外の大学に交換留学生として短期留学する学生に対して、奨学金及び留学準備金を支給しています。
(2020年度実績) 奨学金 月額6～8万円、留学準備金16万円(家計基準あり)

■短期派遣研修プログラムサポート — 短期派遣研修プログラム助成

全学部学生を対象に実施する海外文化研修や各学部が実施する海外短期研修プログラム参加者に対して、研修費用の一部を支援しています。
(2020年度実績) 助成金 8～15万円(派遣地域によって支給額が異なります。)

■大学院学生の海外研究サポート — 大学院学生の海外留学奨学金

海外の大学や研究機関等への留学を希望する本学研究科の大学院生に対して、給付型奨学金及び留学準備金を支給しています。
(2020年度実績) 奨学金 月額12～16万円、留学準備金15～25万円(派遣地域によって支給額が異なります。)

■海外留学準備サポート — 英語能力試験受験料助成

海外留学を目指す学部学生及び大学院生に対して、留学準備のために受験する英語能力試験(TOEFL iBT, IELTS)の受験料の一部を支援しています。
(2020年度実績) 助成金 TOEFL iBT又はIELTSの受験1回につき2万円



琉球大学では、海外留学を支援するために、この他にも様々な返済不要の給付型奨学金を用意しています。詳しくは、国際教育課のホームページで確認してください。

〔留学に関する問合せ先〕 学生部 国際教育課 留学交流係
TEL：098-895-8761

※海外留学のための奨学金については、右記のQRコードからアクセスしてください。



各学部等が行う主な国際交流プログラム

全学部・全研究科 対象	交換留学	全学部・全研究科 対象	パレンシア国際カレッジ・プログラム	医学部 対象	ラオスでの医学生人材育成支援事業
全学部・研究科 対象	ISEPによる交換留学			工学部 対象	エヌ・テック・システムズ 東南アジア派遣助成事業
全学部・研究科 対象	UMAPによる交換留学			農学研究科 対象	「国際農学プログラムによる」海外研修
全学部 対象	海外職場体験	人文社会学部 (国際法政学科) 対象	東アジア諸国、米国(ハワイ・グアム)等での海外研修		
全学部 対象	海外文化研修				

海外留学の前に・・・「海外文化研修」

本学では、半年から1年間の「交換留学」以外に、2週間から4週間程度の「海外文化研修」を実施しています。英語、中国語、フランス語、スペイン語、ドイツ語の5言語で実施しており、どの学部の学生でも、履修条件を満たせば参加することができます。海外留学に迷っている場合や海外留学のイメージ湧かない場合は、まずは「海外文化研修」で留学を体験してみませんか？

英語

2週間の文化研修では英語圏の国や地域に滞在し、提携先の大学の講義に参加します。またフィールドトリップを通して、語学だけではなく、その土地の文化や歴史、習慣などを学ぶことができます。2019年度はハワイ大学マノア校でハワイと沖縄の交流史などを学び、ウィンドワードコミュニティカレッジでは現地学生との交流やSDGsについての発表も行いました。

フランス語

夏期休暇中に3～4週間の日程で実施します。地方都市の落ち着いた雰囲気なかでホームステイまたは寮生活をしながら2週間行う語学研修では、実践的な語学運用能力の向上を目指します。また、1～2週間の文化研修ではパリや地方、近隣国等を訪れ、美術・建築様式の歴史や現地の社会事情を体感し、フランスやヨーロッパの文化・歴史・社会に対する理解を深める機会を提供します。



フランス海外文化研修(トゥルーズ)



フランス海外文化研修(パリ)

※次回の渡航先や予定、最新の情報については、右記のQRコードからアクセスできます。



スペイン語

スペインで3～4週間の語学研修を行います。滞在期間中には、現地学生、ホストファミリー等との交流を通して、スペイン語の運用能力の向上を図ります。その他、週末等を利用して研修仲間と一緒に小旅行を楽しみながら、スペインの文化や歴史に対する理解を深めます。



スペイン文化研修

ドイツ語

夏季休暇中に、隔年でドイツ及びヨーロッパ各地にて約4週間実施されます。協定校のデュッセルドルフ大学における2週間の語学研修と10日間のバス旅行、最後の4日間は各自の興味に合わせた自由旅行となります。語学研修では外国語運用能力の向上を図り、現地学生・市民との交流を試みる一方、文化研修においては毎回異なるテーマを設定し、そのテーマに沿って訪問国・地域の文化や歴史に対する理解を深め、帰国後の学習がより深化・発展するような研修となっています。

中国語

「海外文化研修(中国語圏)」においては、もともと人文社会学部琉球アジア文化学科の専門科目として開設していた科目を、全学部対象に門戸を広げ、2年に1度、台湾の協定校にて研修をおこなっています。中国語の学習はもちろん、文化体験、史跡巡りなどを行い、現地の学生らと交流をしながら、異文化理解を深めることのできる研修になっています。

